

③業務の実施方針 | 施設整備にあたっての基本的な考え方 (重視すべき事項)

神宮外苑の地に日本らしく、人々に愛され、健康長寿命に寄与する質の高いスタジアムを、オリンピック・パラリンピック競技大会前に完成させます

私共は、このたびご提案する完成期限・事業費の範囲内で本事業を完成させるため、一丸となって邁進し、ご期待に応えられるよう精一杯取り組む所存でございます。本事業は、極めて重要な国家プロジェクトであることを認識し、完成期限や事業費に影響を及ぼす事情が生じた場合においても、提案内容を遵守すべく最大限努力してまいります所存です。その際、民間企業である私共の裁量が及ばない事情への対処につきましては、発注者様、必要に応じて発注者様を通じて国、東京都他ご関係者の皆様のご協力を受け賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

※業務要求水準書 第3章 施設整備より

施設整備にあたっての基本的な考え方

■人にやさしく、誰もが安心して集い、競技を楽しむことのできるスタジアム*

『臨場感と見やすさ、競技者の力を引出す“皆のスタジアム”』

1 観客と選手が一体となる臨場感あふれるスタジアムを実現します

- ①臨場感あふれるスタジアムを同断面で囲われたすり鉢状の構成とします。
- ②陸上競技・サッカー・ラグビーなど様々な競技が見やすいサイトラインを確保し、安全に観戦できるスタジアムとします。

2 選手が最高のパフォーマンスを発揮できるスタジアムを実現します

- ①選手の集中力を高める環境を創るために、競技者専用動線と選手関連諸室を充実させます。
- ②天然芝の良好な育成環境のため、日射を取り入れるガラス屋根と芝育成補助システム・散水排水設備を設置します。

3 世界最高水準のユニバーサルデザインスタジアムを実現します

- ①安全でフラットな移動環境を整備し、様々な人々が負担なく利用できるスタジアムとします。
- ②車いす席利用者や高齢者・子供連れ・外国人などへのきめ細やかな配慮をした計画とします。
- ③ユニバーサルデザインワークショップを竣工まで継続的に開催し、世界最高水準のスタジアムをみんなで創り上げます。

■周辺環境と調和し、最先端の技術を結集し、我が国の気候・風土・伝統を現代的に表現するスタジアム*

『広く市民に開かれた“木と緑のスタジアム”』

1 神宮内苑・外苑や新宿御苑などの緑の連続と、周辺の景観に調和した「木と緑のスタジアム」とします

- ①最高高さを50m以下に抑え、周辺への圧迫感を低減します。
- ②周辺の緑に調和した「空の杜」「大地の杜」を持つスタジアムとします。

2 「神宮の杜」の歴史的価値や記憶を次世代に継承します

- ①歴史的な意義を理解し、計画地に適した自然植生の緑化計画とします。
- ②渋谷川の記憶を「せせらぎ」として再現し、親水空間をつくります。

3 健康長寿命に役立つ人々のスポーツと憩いの場を創出します

- ①スポーツクラスターの拠点として、屋上に「空の杜」・地上に「大地の杜」を設け、人々に開かれた施設計画とします。

4 日本建築の要素をデザインに取り入れた世界に誇る日本らしいスタジアムを実現します

- ①木を積極的にデザインに取り込み、日本らしいスタジアムを実現します。
- ②木と鉄骨トラスの組み合わせによる「ハイブリッド構造」を採用し、伝統的な「和」を創出します。
- ③軒庇の縦格子デザインで、日本らしさを表現します。

■地域の防災に役立ち、地球全体の環境保存に貢献するスタジアム*

『持続的な森を形成する大地に近い“環境共生型スタジアム”』

1 自然の風・光・緑・水を活かし、環境にやさしいスタジアムとします

- ①施設の運用形態および敷地環境の特性を理解し、卓越風や下水熱の利用、太陽光発電、及び次世代BEMS導入などにより、運用段階の地球環境負荷の低減を図ります。
- ②豊富な植栽や保水性舗装により、ヒートアイランド化を抑制します。

2 だれもがわかりやすく早く安全に避難できる計画とします

- ①迷うことのないスムーズな避難動線や、避難時の安全に細心の配慮をした計画とします。
- ②耐震安全性の高い制振構造を採用します。

3 災害時の利用者や帰宅困難者が安心して留まれる場所とします

- ①スタジアム特有の広いコンコースを避難者の一時滞在施設として利用できる計画とします。
- ②緊急時の物資供給動線など運用上の使い勝手にも配慮した計画とします。

■できる限りコストを抑制し、要求水準を確保したうえで、東京大会開催に間に合うように確実に完成させる*

『コスト・工期・要求水準を満たすため、日本の高い技術力とシンプルな組織で取り組みます』

1 『コスト』 要求を満たす最適なコスト配分により、上限金額を遵守します

- ①同心円・同断面によるシンプルで合理的な建築・構造計画を行います。
- ②工業化工法等で仮設・施工計画を合理化・省力化しコストを縮減します。

2 『工期』 大幅に工期を縮減し、2019年11月末の完成を実現します

- ①フロントローディング型でスケジュールを管理します。
- ②複数の専門チームで協働する設計体制と手法を採用します。
- ③同心円・同断面の構工法と工区分割でサイクル施工を行い、効率的に施工します。
- ④ユニット化による省力化・効率化工法および工区分割で屋根とスタンド仕上げを併行で施工します。

3 『組織』 シンプルで迅速な意思決定を行う組織を構築します

- ①「最高運営会議」「設計変更協議会」を設置し、発注者からの要望や合意形成を一元管理します。
- ②総括代理人の下、設計者・工事監理者と施工者が協働し、業務を迅速に行います。

4 日本の「ものづくり」の技を結集し、高い技術力をもって要求水準を確保します

- ①日本人気質（誠実・勤勉・創造・正確）と人々の和（楽しさ・笑顔）を大切にします。
- ②「担い手三法」を遵守したうえで、日本の職人達が継承してきた「匠」「技術」「日本気質」を世界に発信するスタジアムを作り込んでいきます。